

会 議 記 録

次のとおり会議記録を公表します。

会議名	第2回 瀬戸・高松広域定住自立圏推進委員会
開催日時	平成21年10月19日(月) 13時30分～14時30分
開催場所	高松市役所 13階大会議室
議 題	(1)瀬戸・高松広域定住自立圏取組事業について (2)その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	会長 大西秀人，副会長 大橋光政，岡田好平委員， 太田和博委員，坂下一朗委員，中村勝利委員，石原収委員， 古市 弘委員，濱田孝夫委員，藤井 賢委員，村瀬 秀則委員
傍 聴 者	0 人 (定員 10 人)
担当課および 連絡先	企画課 (839-2135)

会議経過および会議結果

会議を開会し、次の議題について協議し、下記の結果となった。

(1) 瀬戸・高松広域定住自立圏取組事業について

次の議題について協議し、下記の結果となった。

瀬戸・高松広域定住自立圏の取組事業（高松市が連携を想定する取組事業）について、事務局より説明

(会長)

事務局から瀬戸・高松広域定住自立圏の取組事業につきまして、説明がありました。御質問、御意見等ございましたら、御発言をお願いしたいと思います。

(委員)

ブロードバンド基盤整備等の研究についてでございますが、本町の取組の状況について、先の議会で、ブロードバンド基盤の整備を実施するという方向性が決まりましたので、基盤整備の技術・手法等を研究するという役割ではなく、基盤整備後の活用なども含めたものにしてほしいと思います。

(会長)

そういうことも含めた協定で検討したいと思います。

(委員)

観光の振興について、今までは、町が単独でわが町の観光を行うことが多かったが、今後は一体的な観光に取り組み、連携していくことが重要ではないかと考えます。その場合、高松市ばかり中心にするのではなく、周辺町の地域の良さや特色を生かした取組にしてほしいと思います。

(会長)

観光については、御指摘のような内容を、観光プロモーション事業などに、どんどん取り入れたいと考えています。

会議経過および会議結果

(委員)

三点ほど質問があります。一点目はスポーツの振興・交流で、屋島陸上競技場の活用という取組がありますが、義務教育等においては、当町でも使用している実績もありますが、今後は社会人を対象とした交流を積極的に実施してほしいということです。

二点目は、消防・防災体制の強化について、災害時の相互応援協定の締結という取組がありますが、これは具体的にはどのようなものですか、訓練の実施なども想定されていますか。

三点目は、文化芸術鑑賞機会等の提供についてで、高松のサンポートホールばかりではなく、周辺町の会場も使ってほしいということです。御回答よろしくをお願いします。

(事務局)

まず、一点目の御質問については、スポーツの振興・交流の取組を具体化する中で、検討していきたいと考えています。

二点目の御質問でございますが、取組の内容は、相互応援協定を締結することで、地震等の大規模災害時に物資や労力等の相互応援を行うというものです。訓練については、現在のところ、想定しておりません。

三点目の御質問については、まず、サンポートホール高松において、取り組む事業を想定しておりますが、事業を実施する会場については、効果的な実施となる施設があれば、協議したいと考えています。

(委員)

海上交通については、瀬戸内芸術祭の開催は、来年7月に迫っているもので、急ぐ必要があると思いますが、どうでしょうか。

(会長)

現在、瀬戸内芸術祭に係る海上交通については、香川県の実行委員会で検討し、実施していくことになっており、定住自立圏としては、早期に対応するように要望等していくことが考えられます。

(委員)

定住自立圏の取組の中で、大切な水の問題である安定的な水の供給ということを考えてはどうでしょうか。

(会長)

もちろん、水の問題は、大きな課題だと認識しています。ただ、水の問題については、定住自立圏を構成している市町だけで解決できる問題ではありませんので、今後、そういう観点も含めて、どんなことができるか検討したいと思います。

(委員)

民間の大型商業施設に近接した私鉄の駅が必要だと思っており、将来の発展のためにも、私鉄を護り、住民の利便性を確保することも大事なのではないかと考えていますが、いかがでしょうか。

(会長)

私鉄を護るということではなくて、公共交通のあり方を、まちづくりの大きい観点から、考えていくことが重要であると考えています。

(委員)

この定住自立圏の取組は、他にない圏域の特長をしっかりと生かすことが大事だと思います。高松一極集中ではない、それぞれの地域の良さを生かして、圏域全体として活性化させる取組が重要だと思います。

(会長)

瀬戸・高松広域定住自立圏の目的は、圏域全体を活性化させることで、それが実現できるよう取り組んでいきたいと思っております。

会議経過および会議結果

(2) その他について

次の議題について協議し、下記の結果となった。
本年度の瀬戸・高松広域定住自立圏の流れについて
……事務局より説明

(会長)

事務局から本年度の瀬戸・高松広域定住自立圏の流れにつきまして、説明がありましたが、御意見、御質問がありましたら、御発言をお願いします。

(会長)

特に無いようですので、今後については、先ほど、事務局から説明しました瀬戸・高松広域定住自立圏の流れの中でもありましたように、定住自立圏形成の協定議案を中心市と周辺町において、議決し、1体1で協定締結することになります。今後とも、皆様方の御尽力・御協力よろしく願います。

それでは、第2回の瀬戸・高松広域定住自立圏推進委員会はこれを持ちまして終了させていただきたいと思えます。

本日はどうもありがとうございました。